災後の状況では、改修を要する部分もあることから、要望していきたいと考えております。

Q　心配していたとおり、木戸川の山室地先、蕪木地先では、護岸が大きく崩落しております。その山室地先について、県の今後の対応、予定はどうなっているのか。

A　都市建設部長　本年5月に崩落が確認されました山室地先の護岸について、復旧工事の準備を進めているということでした。

Q　崩落、決壊してからでは遅いのです。作田川に続き、木戸川も、全体的に危険箇所をもう一度確認していただき、河川改修をしていただくべきと思うがどうか。木戸川は、芝山町、富里市が関係してくると思いますが、木戸川河川改修の要望を県に出していただくようお願いします。

A　都市建設部長　作田川と同じように改修ができれば、一番良いのですが、現状では困難だろうということですので、改修すべき箇所等がありましたら、素早く要望してまいりたいと思っております。

●山武市総合計画について

Q　都市計画マスタープランでは松尾横芝インターチェンジを中心に、産業交流拠点とあるが市はどのような計画を考えているのか。

A　市長　総合計画の土地利用構想の中の重点プロジェクトで、松尾横芝インターチェンジ周辺への空港関連企業の誘致を提案しました。今のところ思ったような成果が上がっていない現状です。マスタープランの中に、位置としては描いていますが具体的な施策にまで落としていませんので、早急に調査を始める必要を感じています。

Q　現在の都市計画では、大型開発が難しい。企業誘致に対して、余りにも非現実的と思うが市はどう考えているのか。

A　都市整備課長　現状、都市計画を定めるまでの具体的な土地利用は確定していない状況であり、都市計画として計画決定を行うに当たりましては、時期尚早であると考えております。

個人質問

加藤　忠勝　議員

●市民サービスの向上について

Q　市民から、役所の職員は挨拶もできないと耳にします。市長の率直な感想を伺います。

A　市長　挨拶は基本であると考えています。

Q　ワンストップ行政サービスについての考えを伺います。

A　市長　手続きが非常に煩雑でわかりにくいという方に対し、たらい回しのないサービスを心掛けて、さらに組織的に構築をしていかなければならないと考えています。

Q　高齢者にとっては、たらい回しは大変です。前向きに考えていただけますか。

A　市長　高齢者に対して、きめ細やかなサービスの提供は、現在も受付の職員が案内、その他で頑張っています。フロアマネージャーを置くという形を検討していくことによって、サービス向上に努めていきたいと思っています。

Q　山武市の電子自治体の推進によるワンストップサービスの現状と方針を伺います。

A　総務部長　電子自治体の構築に向けて取り組んでいますが、家から直接、書類の申請などのところまでは至っていません。

●防災対策について

Q　3月11日に発生した東日本大震災では、山武市も大きな被害を受けました。これからの防災は、地震対策はもちろんのこと、津波対策が重要です。津波対策の最重要課題である防潮堤について、どう対策を講じるのか伺います。

A　市長　今回の津波を教訓として、①木戸川の堤防の再構築。②海岸からの津波をどのように防ぐか。この2つの防災機能を強化しなければならないと思います。また、九十九里有料道路が、海からの波を防ぐ一定の役割を果たしたと理解します。山武市として、近隣の市町と共同歩調をとり、県、国に強く九十九里北部の防災有料道路という考え方で、なんとか海からの備えを強化して欲しいと強く働きかけます。これは最重要課題であるとの認識のもと、頑張ってまいりたいと考えています。

Q　防災の要である防災行政無線について、松尾地区の本柏区と武野里区において、受信不能のエリアがあります。しっかり調査・点検はしているのか伺います。

A　総務部長　防災行政無線につきまして、市民の方々も今回のことを契機に、非常に注目、関心を持たれています。早速、現地調査をいたします。

Q　甚大な被災地へ、長期的に職員を派遣する考えはあるのか伺います。

A　総務部長　自治体で働く職員として、被災地支援につきましては、山武市としてできることは何でもしていくといった姿勢で臨みたいと考えています。

●教育問題について

Q　家庭教育の取り組みについて、家族のきずなを築くのは家庭教育であり、これが教育の原点です。そこで、市の家庭教育をどう充実させたらよいのか考えを伺います。

A　市長　こどもの教育にとって、人格形成そのほか、最終責任は、両親に帰するのではないかと考えます。家庭教育の重要性はもちろんですが、日本人の力をとりもどすために、あらゆる面で、未来の力強い、たくましいこどもたちを育成する必要があることを感じています。

A　教育長　学校現場や教育委員会としても苦慮しているところがたくさんあります。起因と